

雲仙地獄：「地獄」へようこそ

雲仙に来てまず気づくことと言えば、空気中の硫黄の匂いと、もうもうと立ち上がる湯けむりの渦でしょう。これは今でも地中に眠る山が健在で火山活動が行われている証拠です。ここは、「邪な人生を送った者が一時的に行き着く場所」という仏教の教えと結びついた用語からとって、「地獄」と呼ばれています。しかし雲仙で暮らしを営む地元民にとっては、「地獄」はどれも地域に根付いた美しい場所です。また、「地獄」の熱エネルギーやミネラル成分はこの地に温泉をもたらし、何世代にも渡って観光客を魅了してきたことから、地元の人々の生活基盤となっています。

硫化水素ガスは特定の金属に大きな損傷を与え得るものですが、一般人が入れるエリアにおける濃度レベルでは、人体や森の木々に害はありません。地獄には、ガスや水が静かな音を立て地面から漏れ出ているところもあれば、大きな音を上げて激しく噴き出しているところもあります。遊歩道は全主要エリアに設置されており、中でも独特な形の地層には名前が付けられていたり、町の歴史の一端を担っているものもあります。硫化水素ガスの蒸気は時に 120℃にまで達することがあるため、観光の際は遊歩道や展望所から出ないようにご注意ください。

遊歩道は 24 時間通行可能です。怖いもの知らずの方は是非、暗くなってから「地獄」散策を試みてください。うめき声やヒューっという音、温泉がブクブクと噴き出す音が聞こえる中、ぞっとするような非日常的な体験ができるはずです。（懐中電灯をお忘れなく。）